

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2001-134144(P2001-134144A)
 【公開日】平成13年5月18日(2001.5.18)
 【出願番号】特願平11-318258
 【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 21/00

G 0 3 G 21/10

G 0 3 G 21/14

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 0

G 0 3 G 21/00 3 1 8

G 0 3 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感光体と、前記感光体を駆動する駆動手段と、画像情報に基づき前記感光体に露光して静電潜像を形成する露光手段と、前記静電潜像を現像してトナー画像を形成する現像手段と、トナー画像を転写紙に転写する転写手段と、前記感光体に当接して前記感光体に付着しているトナーを掻き取るクリーニング部材と、少なくとも前記駆動手段または前記露光手段若しくは前記現像手段の動作を制御する制御手段とを有する画像形成装置において、前記制御手段が、前記画像情報に応じて、転写紙に転写しない非転写トナー像をトナー量を変化させて形成し、前記非転写トナー像を前記クリーニング部材で掻き取るよう制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記非転写トナー像のトナー量を、前記画像情報の黒化率または文字以外の画像情報の有無若しくはベタ濃度部の有無に応じて変化させることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記非転写トナー像を、連続して転写トナー画像を形成および転写する連続転写モードにおいて、前記連続して形成される転写トナー画像の間隙に形成することを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記非転写トナー像のトナー量を、前記クリーニング部材を新規なクリーニング部材に交換した後または前記感光体を新規な感光体に交換した後の転写トナー画像の形成数に応じて変化させることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記非転写トナー像の前記感光体の駆動方向の長さを変化させることによって、前記非転写トナー像のトナー量を変化させることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記非転写トナー像の前記感光体の幅方向の長さを変化させることによって、前記非転写トナー像のトナー量を変化させることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記非転写トナー像を前記感光体の幅方向の全長に渡って形成することを特徴とする請求項 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記非転写トナー像を前記感光体の幅方向の端部に形成することを特徴とする請求項 6 に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

感光体に画像情報に基づき露光して静電潜像を形成し、前記静電潜像を現像して転写トナー画像を形成し、前記転写トナー画像を転写紙に転写する転写画像形成工程と、前記感光体に露光して静電潜像を形成し、前記静電潜像を現像して非転写トナー像を形成し、前記非転写トナー像をクリーニング部材で掻き取る非転写画像形成工程と、を有する画像形成方法において、前記非転写トナー像のトナー量を、前記画像情報に応じて変化させることを特徴とする画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】